

I 教育目標	
◎よく考える子（重点目標） ○思いやりのある子 ○体をきたえる子	
II 経営方針	
目指す学校像	～ 子供の笑顔が あふれる学校～ ○【子ども】一人一人の個性を発揮できる学校「通ってよかった！」 ○【保護者・地域】地域から信頼され、愛される学校「通わせてよかった！」 ○【教職員】互いの良さを生かし、協力する教職員の学校「勤めてよかった！」
目指す児童像	◎自ら考え、主体的に判断し、行動する児童（今年度重点） ○互いの個性を認め合い、自分も友達も大切にする、思いやりのある児童 ○心身ともに健康で逞しく、明るく活発に、体をきたえる児童
目指す教師像	○子供に寄り添い、子供の成長を心から喜べる教師 ○教育に対して情熱をもち、謙虚な姿勢で、常に学び続ける教師 ○「チーム松本」の一員として、互いに同僚性を高め合える教師
経営理念	子供たちを取り巻く環境が大きく変化する中、小学校では、これからの社会を担う全ての子供たちの真の「生きる力」を育むことが求められている。そのためには、子供たちが将来への希望をもって自ら伸び、育つ教育を行う必要がある。そこで、子供たちを支える教職員の力を高め一丸となって、「自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる。」「他社への共感や思いやりをもつとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する。」子供を育てていく。

III 経営目標		
重点領域1	学力向上の推進	
中期経営目標	学力向上に向けたアクションプランを実施し、基礎・基本の定着、授業改善等を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の「読むこと」領域について、全教職員が授業改善に取り組む。（校内研究と連携） ・学力向上プロジェクト等と連携して、算数の基礎・基本の定着を図る。江戸川区授業スタンダード（算数）スタイルの確立を図る。 ・タブレット端末を活用した個別最適な学びの推進を図る。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	子供の読解力を高めるため、「読むこと」領域に関して、授業力向上を目指し、日常的に授業改善に取り組んでいく。	国語学習アンケート項目「文章の内容を理解するのが得意」で、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。
2	基礎・基本の確立に向け、日常的な取り組みを実施する。算数スタンダードに即した授業を行い、授業改善を図る。	三学期に実施する東京ベーシックドリルの診断テストにおいて、CD層の割合を低学年で10%、高学年で5%向上させる。

3	「ミライシード」を活用して、日頃の学習や「江戸川っ子 study week!」を通じた家庭での学習に日常的に取り組ませる。	学習アンケート項目「毎日タブレット端末を使って学習をしている」で、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。
---	---	--

重点領域2		心の教育の推進
中期経営目標	様々な取り組みを通して、共生社会の実現に向けた心の育成を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流、通常・うみかぜ学級の交流を通して、思いやりの心を育てる教育を推進する。 ・道徳授業の推進、規範意識の向上、家庭・地域との連携により、いじめの未然防止・早期発見・早期解決と不登校対応の充実に努める。 ・「全教職員で全児童を見守る」という意識のもと、Hyper-QUの活用、定期的な情報交換、研修の実施により、児童理解と個への対応の充実に努める。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	異学年交流、通常・うみかぜ学級の交流を通して、友達の個性を認め合える児童を育成する。	学校生活アンケート項目「他の学級の友達のよいところを見付けられた」で、肯定的に回答する子供の割合を90%以上にする。
2	道徳授業の推進、規範意識の向上、家庭・地域との連携により、いじめはいけない、いじめをゆるさないという気持ちを育てる。様々な機関と連携して不登校対策を行う。	学校生活アンケート項目の「いじめは絶対にいけない」で、肯定的に回答する子供の割合を100%にする。3学期に不登校児童（3学期欠席15日以上）を0にする。
3	Hyper-QUの活用、定期的な情報交換、研修の実施により、児童理解と対応に努め、一人一人が安心できる居場所のある学級づくりを目指す。	学校生活アンケート項目「学校が楽しい」で、肯定的に回答する子供の割合を90%以上にする。

重点領域3		体力の向上及び健康の保持・増進の推進
中期経営目標	体力を高める取組や授業の充実をとおして、健康でたくましい児童を育成する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・なわ跳びチャレンジウィーク、新田プレイタイム、持久走記録会、体力テスト等の取組を通して、体力の向上を図る。 ・運動量が確保された体育授業の実施、ポートフォリオの活用による家庭と連携した取組により、体力の向上を図る。 ・安全・健康教育の改善・充実に努め、自らの健康の保持増進に努める児童を育成する。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	なわ跳びチャレンジウィーク、新田プレイタイム、持久走記録会、体力テスト等の取組を通して、すすんで運動する児童を育成する。	学校生活アンケート項目「休み時間に外で遊ぶのが好き」で肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。

2	個に応じた達成目標のある体育の授業を実施するとともに、ポートフォリオで家庭と連携することで、体育の授業における達成感を味わわせる。	学校生活アンケート項目「1年間の体育の種目で、できるようになったことがある。」で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
3	歯磨き指導、安全指導、早寝・早起き・朝ごはん、アウトメディア等の活動を通して、自分自身の心身の健康や成長への関心を高める子供を育てる。	学校生活アンケート項目の安全の大切さや自分の健康について、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。

重点領域4		特別支援教育とShin Den Goalsの推進
中期経営目標	特色を生かした教育活動の推進を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・うみかぜ学級と通常学級の交流及び共同学習を通して、主体的に活動に取り組める子供の育成を図る。 ・各学年が実態に応じたShin Den Goalsに取り組み、ともに生きる町づくりの思いに触れ、SDGsに取り組もうという気持ちを育む。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども側）
1	うみかぜ学級と通常学級の交流及び共同学習を通して、一緒に取り組める活動を自分たちで考えることができるようにする。	学校生活に関するアンケート項目の交流について「自分で考えて行動するのが好き」について、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。
2	各学年の発達段階に応じた教育活動 Shin Den Goals を実施し、子供たちのSDGsへの関心を高める。	学校生活アンケート項目「SDGsは大切だと思いますか」で、肯定的に回答する子供の割合を90%以上にする。